

令和3年度第2回海津市総合教育会議議事録

1 日 時 令和4年2月16日（水）午後4時から午後5時10分

2 場 所 海津市役所 東館4階 災害対策本部室

3 出席者の氏名

市長	横川 真澄
教育長	服部 公彦
教育長職務代理者	伊藤 亮一
教育委員	森 圭子
教育委員	曾根 理仁
教育委員	大津 由佳

4 調査、説明等のために出席した者の氏名

総務部長	寺村 典久
総務課長	伊藤 聡
企画財政課長	近藤 康成
教育委員会事務局長	伊藤 一人
教育総務課長兼学校給食センター所長兼 学校統合推進室長	後藤 政樹
学校教育課長兼教育研究所長	後藤 秀樹
こども課長	鈴木 良彦
社会教育課長兼歴史民俗資料館長兼図書館長	水谷 守宏
スポーツ課長	奥村 孝司
書 記：教育総務課係長	池戸 ゆり

5 傍聴者

な し

6 議 題

- (1) やすらぎ会館のリニューアルについて
- (2) 市内小中学校のいじめの現状について

発言者	発言内容
教育総務課長 兼学校給食セ ンター所長兼 学校統合推進 室長	<p>本日は大変お忙しいところ、第2回海津市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>この会議は、市長と教育委員会の意思の疎通を図り、本市の教育に係る課題やあるべき姿を共有し、連携して本市の教育行政に取り組むために開催するものです。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、はじめに、市長よりごあいさつを申し上げます。</p>
横川市長	<p>皆さん、こんにちは。本日はご多用の中、第2回海津市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>また、日頃から委員におかれましては、本市の教育行政にご理解とご尽力を賜り重ねてお礼申し上げます。</p> <p>会議の冒頭、コロナの話が多いわけですが、少し話をさせていただきますと、本件に対する「まん延防止等重点措置」は、3月6日まで延長されたところです。</p> <p>海津市内では、昨日すでに報道されておりますとおり、24名という過去最多となる感染者が出ました。岐阜県におきましても、8,234人という過去最多を記録しました。この海津市の24人を岐阜県の人口規模に置き換えると、1,451人。岐阜県全体の感染者数を上回るところでございます。海津市において、いかに多くの感染者が出ているという状況が分かったというところです。</p> <p>直近一週間についても、海津市の過去最多となる106名というところでございます。感染者の増加に歯止めがかけられていないという状況でございます。さらに、基本的な感染防止対策の徹底と合わせまして、感染リスクの高い行動の自粛を皆様に呼びかけていきたいと思っております。</p> <p>そして、その切り札となる3回目のワクチン接種ですが、なかなか予約率が上がっていないのが現状でございます。</p> <p>海津市におきましても、接種券の発送数に占める予約の数と割合というものが、7割弱（3分の2）程度に留まっています。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、それぞれのお立場から速やかな接種を呼びかけていただくと大変ありがたいです。</p> <p>また、本日の議題の一つとして、やすらぎ会館のリニューアルについてでございます。</p> <p>先の12月議会でも答弁をしましたが、政策目標の第1に掲げます、「子育て世代に選ばれるまちづくり」を実現するために、やすらぎ会館</p>

発言者	発言内容
	<p>を子育て支援の拠点施設へとリニューアルを行っていきたいと考えています。</p> <p>その背景ですが、市が抱える人口減少という大きな課題があります。その点につきましては、様々な場で私も発言をしているところで、第1回総合教育会議においても申し上げたところでございます。</p> <p>令和2年国勢調査の結果を受けまして、海津市の旧平田町区域が過疎地域の指定を受け、令和4年4月から過疎法の対象になります。この過疎法ですが、人口減少が著しい地域の振興と持続的発展を国が支援するための法律でございます。岐阜県の平野部として、海津市が初めて対象となります。人口減少は、多くの自治体において共通の課題ですが、今すぐに取り組まなければならない喫緊の課題でございます。</p> <p>このような状況を踏まえまして、やすらぎ会館のリニューアルの他にも「子育て支援施策の充実」にも取り組んでいく必要があると考えているところでです。</p> <p>そのため、来年度からこども課を市長部局へ移管し、仮称ではありますが、「こども課」から「こども未来課」という新しい名称にしたいと進めております。海津の未来を担う子どもたちが健やかに育つ、そういう環境を整えるとともに子育て世代に対する支援の拡充を徹底的に図り、人口減少に歯止めをかけたいと考えているところでございます。</p> <p>本日は、活発なご意見等を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします</p>
<p>教育総務課長 兼学校給食センター 所長兼 学校統合推進 室長</p>	<p>本日の出席者につきましては、資料の1ページの名簿をもって紹介に代えさせていただきます。</p> <p>それでは、議題に移らせていただきます。</p> <p>これより先の進行は、市長にお願いします。</p>
<p>横川市長</p>	<p>それでは、議題の一つ目、やすらぎ会館のリニューアルについての説明を、事務局からお願いします。</p>
<p>企画財政課長</p>	<p><資料により説明></p>
<p>こども課長</p>	<p><資料により説明></p>
<p>社会教育課長 兼歴史民俗資料館長 兼図書館長</p>	<p><資料により説明></p>

発言者	発言内容
横川市長	<p>ただ今、説明がありましたように、平田図書館の児童書を全て新しい「やすらぎ会館（子育て支援施設）」へ移設して、「こども図書館」という形でコーナーを設けて、遊びの場、親子のふれあいの場、保護者同士の交流の場を併せ持った機能にしたいと考えております。</p> <p>ご意見やご質問等ありましたらお願いします。</p>
森委員	<p>やすらぎ会館が子育て支援の重点施設になることは、とても良いことで、また、子どもに特化した図書館という特徴のある施設で、魅力的ではないかと思えます。今、平田図書館に29,000冊ほどの児童書があるとのことですが、収納の問題があると思えますが、可能であればそれよりも多く充実したものにしていただけたらと思えます。</p> <p>先日、研修で岐阜市のメディアコスモスに行ってみましたが、低い書架で、遠くまで見渡すことができたのですが、子どもの背の高さに合わせた書架で、尚且つ広い通路でとても楽しい空間になっていました。子どもが図書に親しめる空間であるということと、図書を媒介にして親と子が会話を交わす楽しい場所になったらと思えます。よろしくをお願いします。</p>
横川市長	<p>大変貴重なご意見をありがとうございます。</p> <p>ご指摘のあったとおり、メディアコスモスの「子ども向けコーナー」というものは、非常によく考えられています。そういったものもしっかりと参考にしながら、子育て支援などの図書もしっかりと置きたいと思っております。子育て世代のための図書館でもあるべきだと思っておりますので、そういったものを充実させてしっかりとした図書館機能を持たせて、子ども図書館というものを併設したいと思っております。</p> <p>その他よろしいでしょうか。</p>
大津委員	<p>子育てにまだ記憶があるのですが、もっと早くにあつたらよかったと思っております。子どもに特化した図書館ということで、ぜひ、作っていただきたいですし、他の空間においても子どもたちが伸び伸びと遊べる場所、お母さん同士が交流できるような所も作っていただきたいと思っております。</p> <p>あと、子育て相談も検討しておられるとのこと、手厚くやっていただけではないかと楽しみにしておりますので、よろしくをお願いします。</p>
横川市長	<p>委員から発言がありましたとおり、この新しい子育て支援拠点というのは、子どものための施設であると同時に、子育て世代のための施設と</p>

発言者	発言内容
	<p>したい。そうしますと、保護者同士の交流は元より、子育て支援に対する子育てに対する相談支援ができる場所にしたいと思っていますので、その点しっかりと対応していきます。</p> <p>その他よろしいでしょうか。</p>
伊藤委員	<p>森委員と大津委員と同感です。</p> <p>あと、メディアコスモスに行って思ったことは、トイレが端ではなく真ん中辺りに設置してあったので、親の目が行き届くように配慮してあると感じました。ぜひ、参考にさせていただけたらと思います。</p> <p>先ほど市長がおっしゃられました、旧平田町が過疎地域に指定されるということですが、この機会に旧平田庁舎跡地を利用して、子育て支援拠点として発信していただき、地域の活性化に繋げていただけないかという思いがします。よろしくをお願いします。</p>
横川市長	<p>トイレの場所については、水廻りのことがありますので、やすらぎ会館のトイレの場所を変えることは非常に難しいかと思っておりますが、ご指摘のとおり、子どもに目が届くということが非常に大切なところでございます。モニターなどを設置して、違う部屋からお子さんの様子が分かるというような機能も設置していこうと思っております。</p> <p>そして、旧平田庁舎跡地を含めた平田地区の活性化については同感でして、できる限り若い世代の人が集まる、そんなエリアにしたいと思っております。</p> <p>その他よろしいでしょうか。</p>
曾根委員	<p>私も少ない経験なのですが、以前に南濃中学校の評議員をやっているときに、同じ評議員の方でこども園の理事長がおられました、子育てに対するノウハウが相当なものでした。恐らく真人舎の理事長も同じだと思います。例えば、こども園に預けてない保護者の方でも気軽に相談したいなということが出来るような環境もイメージしていただき、垣根が低くなって寄っていただけたらと思いますので、その辺はどうしても公の施設であるという制約の問題もあると思いますが、そんな運営ができるといいと思います。</p>
横川市長	<p>ありがとうございます。子育て世代の方が「気楽にこれる」というところが、何よりも大切なことでもあります。</p> <p>そして、「子育てに関する相談支援が行える場所」ということを、しっかりと目指していきたいと思っております。</p> <p>その他よろしかったでしょうか。</p>

発言者	発言内容
大津委員	<p>私も関わっているのですが、子育て支援のNPOが行っているイベントのスタッフの姿を見て連れてこられたお母さん方が、そのメンバーになりたい、また、そこで遊んでいた小学生や中学生が、その下の世代に自分たちもスタッフとして関わってあげたいという思いを持ってきていて、そうやって人が繋がっていくと思います。そこでまた、この海津市に住んで来て良かったと思っていただけたらと思うので、小さいお子さんだけがいるだけの施設ではなく、そこで新たな発案もできる場所も少しあるといいなと思います。</p>
横川市長	<p>ご指摘のとおりだと思います。子育て世代のための施設と言いつつも、その他の方との交流ができて初めて子育て世代のためになりますので、ご指摘の点をしっかりと踏まえて考えていきたいと思います。</p> <p>その他よろしかったでしょうか。</p>
森委員	<p>先ほどの大津委員の意見に関連してですが、よく私は、生涯学習センター・平田図書館でお年寄りが窓際で座って本を読んでおられる姿を見かけました。やすらぎ会館が子育て支援の拠点施設となって、子どもに特化した図書館が併設されることは賛成です。賛成ですが、生涯学習センター・平田図書館が閉館となることについて、残念に思っておられる方もたくさんいると思うので、そのことを念頭に置いていただいて、新しい子育て支援施設ではあるけれども、何かのイベントで多様な世代交流ができるといいかなと思います。長期的な視線でいいので、ぜひ、よろしくをお願いします。</p>
横川市長	<p>ありがとうございます。ご指摘な点をしっかりと踏まえて考えていきたいと思います。</p>
伊藤委員	<p>提案といいますか、メディアコスモスにも1階にコンビニや飲食店があるように、既存の施設を使用するので難しいとは思いますが、ホットするような場所があったらと思います。</p>
横川市長	<p>飲食スペースは必要ですし、くつろいで気楽にそういった場所を設置していきたいと思っています。</p> <p>飲食を提供できる業者に入っていただくのは難しいかと正直思っておりますが、簡易な自動販売機のようなものを設置できたらと考えています。</p> <p>それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議題の二つ目、市内小中学校のいじめの現状についての説明を、事務局からお願いします。</p>

発言者	発言内容
学校教育課長 兼教育研究所 長	<資料により説明>
横川市長	ただ今、資料の説明がありました。これについてご意見やご質問等ありましたらお願いします。
大津委員	<p>以前からお願いしてきたことが、来年度から市役所内の他にも「駒野フレンドリールーム」ということで開設され、本当にありがたいなと思います。</p> <p>不登校の子の原因は様々です。いじめやそればかりではなくて、安心して過ごせる居場所というものを作っていただきたいと思った時に、市役所内ではどうかと今まで発言してきました。</p> <p>今、児童虐待等のニュースも見受けられますが、保護者の送迎が難しい場合もあると思いますし、突然、フレンドリールームに行きたくなったり、行きたくなくなったりする子がいると思いますので、緩やかな対応をしていただけたらと思います。</p> <p>社会福祉課でもひきこもりがちな方の居場所作りもやっていますので、海津市の中にたくさん居場所があるといいなと思いますので、連携しながらお願いします。</p>
横川市長	ただ今の委員の発言に対していかがでしょうか。
学校教育課長 兼教育研究所 長	<p>今後の見通しですが、「駒野フレンドリールーム」は、文化会館内で開設されるのですが、令和6年度に海津町内の小学校の統合があります。その小学校の有効活用として、できれば包括的な子育て悩み相談センターのようなものが一帯な所があれば、親子で来て親さんは相談員と話し、その間に子どもは活動することもできます。</p> <p>文化会館の2階では、研修室の部屋があって、いろいろなサークルの方が活動しておられますが、通ってくる子と地域の方との交流ができる楽しむ場所ができるといいなと思っています。</p> <p>まずはきっかけ作りで、このような形を作らせていただいて、そしてみんなで考えながら、楽しい環境を作っていただきたいなというふうに考えています。以上です。</p>
伊藤委員	通級する場合の手続きとして、「各学校長の許可を得て、教育委員会に申請する」とありますが、校長の許可がないと通えないのですか。

発言者	発言内容
学校教育課長 兼教育研究所 長	<p>堅苦しいものではないのですが、校長先生も承知しているということで、我々も電話相談があったら学校に連絡し、連携を強めているので、形として申請書のようなものを作っておくことが、今までの流れでやっております。また、それに関して不具合があれば、柔軟に対応していかなければならないというふうに考えております。</p>
教育長	<p>学校は、公的な場所も含めて子どもが通って、そこで活動したり相談すると言ったときは、学校が把握して出席扱いにもできます。そういうことも親さんは安心材料にもなるし、あの子は学校に行っていないのではなくて、出席にカウントしてもらえたという安心感につながります。</p> <p>また、連携することで、学校長が知っていることは大きな意味もあります。</p> <p>学校の職員が声をかけることで、また違うステージに上がれるので、いろいろな人に関わってもらえることが大事だと思います。そういう意味で、このフレンドリールームは来年度の海津市の生命線だと思いますので、力を入れてやりたいと思っています。</p>
横川市長	<p>資料の13ページの「各学校長の許可を得て」とありますが、今の説明を聞いていますと、行政で言う許可ではないような気がします。よって、「許可」という言葉を使わないようにお願いします。</p>
教育長	<p>「届出」でどうでしょうか。</p>
学校教育課長 兼教育研究所 長	<p>わかりました。</p>
横川市長	<p>その他よろしかったでしょうか。</p>
曾根委員	<p>今、ヤングケアラーの子が不登校になっているという問題も聞きますが、私の耳に入ってきたのは、ネグレクトで学校にいけない子がいると。フレンドリールームに出てこれる子はいいいのですが、そうでない子は、やはり地域社会で何かフォローする仕組みを考えなくてはいいのではないかと思います。</p> <p>以前に自治会の役員をやっていましたが、中身が背景にあると学校だけでは対応しきれない部分があると思いますので、少し広い目でいろいろな事案の協議できる場所、情報交換できる場所を維持していただけたらと思います。</p>
横川市長	<p>ただ今の委員の発言に対していかがでしょうか。</p>

発言者	発言内容
学校教育課長 兼教育研究所 長	ヤングケアラー等の対応としましては、子ども相談センターに情報提供をしますので、その日のうちに対応をするという印象を受けております。我々も学校にそういった情報があると、社会福祉課と連携してすぐ対応しております。
横川市長	その他よろしかったでしょうか。
委員	<異議なし>
横川市長	それでは、全体を通じて何かございましたら、よろしくお願いします。
委員	<異議なし>
横川市長	特にご発言もないようですので、これをもちまして、議事を終了させていただきます。 事務局にお返しします。
教育総務課長 兼学校給食セ ンター所長兼 学校統合推進 室長	それではこれをもちまして、本日の会議を終了させていただきます。お忙しい中ご出席賜り、誠にありがとうございました。

閉会 午後5時10分